

デジタルトランスフォーメーション(DX) 推進に向けた取組み

2024年 3月 1日



株式会社 ファニット

FUNIT.

1. 代表者メッセージ

少子化が進む現代社会では、限られた予算／人材／労働時間で収益を伸ばすことが厳しく求められる時代です。この時代を生き抜くために、企業はデジタル技術を正しく理解して利活用することが必須となりました。

弊社はこれまでも企業のデジタル利活用やDXを推進してきましたが、お客様とともに自社の成長も加速させるため、自社のDXにも積極的に取り組んでまいります。

競争が激化するこの時代をお客様と共に生き抜くために、日々精進していきたいと考えております。



代表取締役 眞榮城 渡

2. 当社の経営理念

誠実

成長

共存共栄

- ▶ 他人を尊重する。私たちの行動で他人を不幸にしてはならない。

協働

- ▶ 組織内外の垣根を越えて、目標を実現する。

昨日と同じことはしない

- ▶ 常に新しいことにチャレンジする。

プラス α

- ▶ 求められている品質に加えて、自分の価値をプラスする。

3. 当社の経営ビジョン

経営ビジョン

沖縄で働く人々を豊かにする

経営モデル

DXを実現するための
コンサルサービスを展開

デジタル化に必要な
セキュリティ改善サービス
を展開

業務改善や補助金活用
支援サービスを展開

4. 当社のDX戦略



DXソリューションを活用した業務改革・収益向上

DXソリューションを活用し、既存のレガシーシステムにより構築されたビジネスロジックの刷新、改善を図る。これにより創出された余力を新サービスの発展に注力することで他社との差別化、優位性の確保し収益向上を目指す。



DXの普及・促進による地域経済の活性化

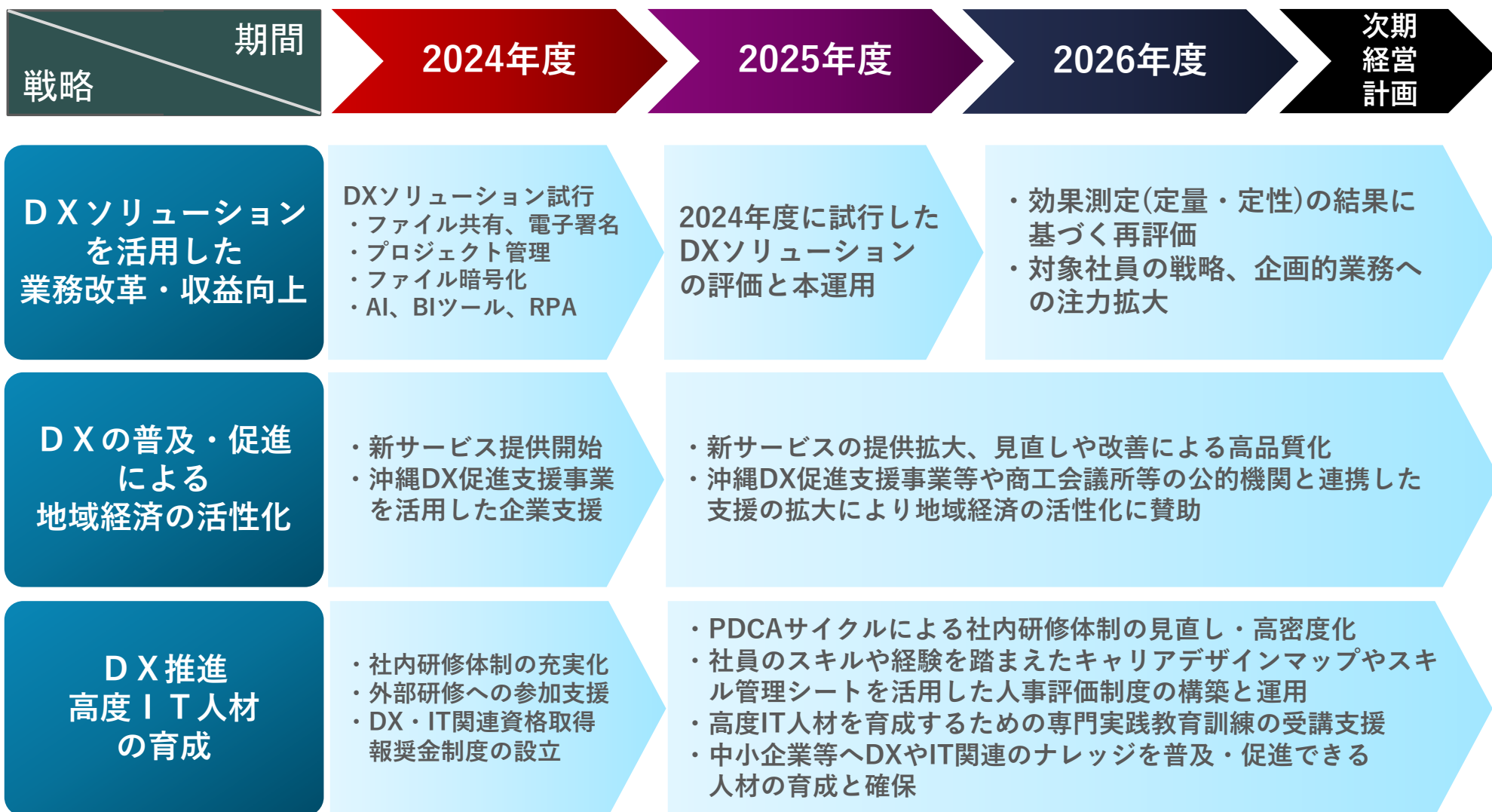
当社がこれまでに携わったITインフラの設計・構築や業務改善支援、DX促進支援で培った経験やノウハウを生かした新サービスを中小企業等に提供することで、DXを自社内に留めることなく、普及・促進を図ることで地域経済の活性化を目指す。



DX推進・高度IT人材の育成

社内のDXの普及・促進や顧客への付加価値の高いサービスを提供できる人材の育成に積極的に取り組む。社員の主体的な取り組みを促すため、資格取得報奨金制度の設立や研修費の補助、専門実践教育訓練の受講支援を行う。

5. DX戦略ロードマップ



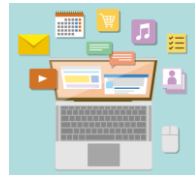
6. DXソリューションを活用した業務改革・収益向上

当社ではシステムの導入により、ほとんどのビジネスロジックのデジタル化が進められているものの、利便性の不足やデータの連携・利活用に生かしきれていないのが現状である。

そのことから、新たなDXソリューションの導入・活用によりビジネスロジックの刷新と改善を図る。



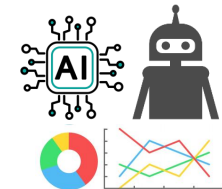
電子署名機能を有する
オンラインストレージ
の導入による契約手続き
のデジタル化



グループウェアとプロ
ジェクト管理ツールの
更新による業務効率化



ファイル暗号化ツール
の更新によるセキュリ
ティの向上



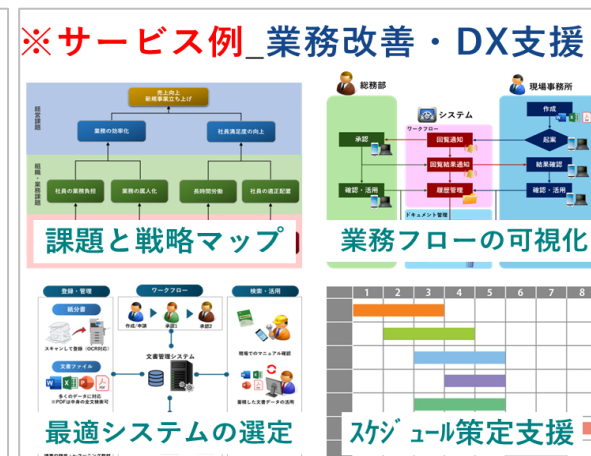
AI・RPA・BIツールを用
いたデータ活用による業
務改革とアイデア創造



ビジネスロジックの刷新、改善により創出された余力を新サービスの発展に注力することで他社との差別化、優位性を確保し収益向上を目指す。

7. DXの普及・促進による地域経済の活性化

- ・ デジタルやITに精通した人材の確保に苦勞している中小企業向けの月額サービスの提供を開始



- ・ 沖縄県主催のイベントでの登壇・紹介



自社独自の活動に加え、沖縄県のDX促進支援事業活用による企業支援、沖縄ITイノベーション戦略センターや商工会議所等の公的機関との協力・連携を目指すことでDXの普及・促進し、地域経済の活性化を図る。

8. DX推進・高度IT人材の育成

社員個人のスキルを踏まえ、研修と現場での実践を通して以下の知識や技能の習得を促進することでDX推進・高度IT人材の育成と確保を目指す。

【ステップ1】情報技術・情報リテラシーに関する基礎的知識や技能

【ステップ2】第四次産業革命スキル・ITSSレベル3以上の知識や技能



実施 施策



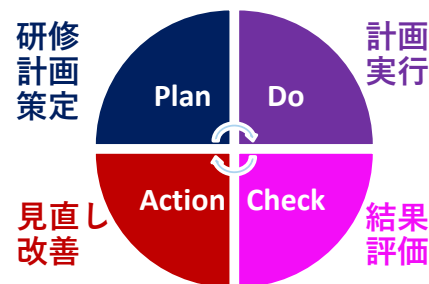
オンライン教材を活用した社内研修の充実化



社員の外部研修参加の支援



DX・IT資格取得報奨金制度の設立

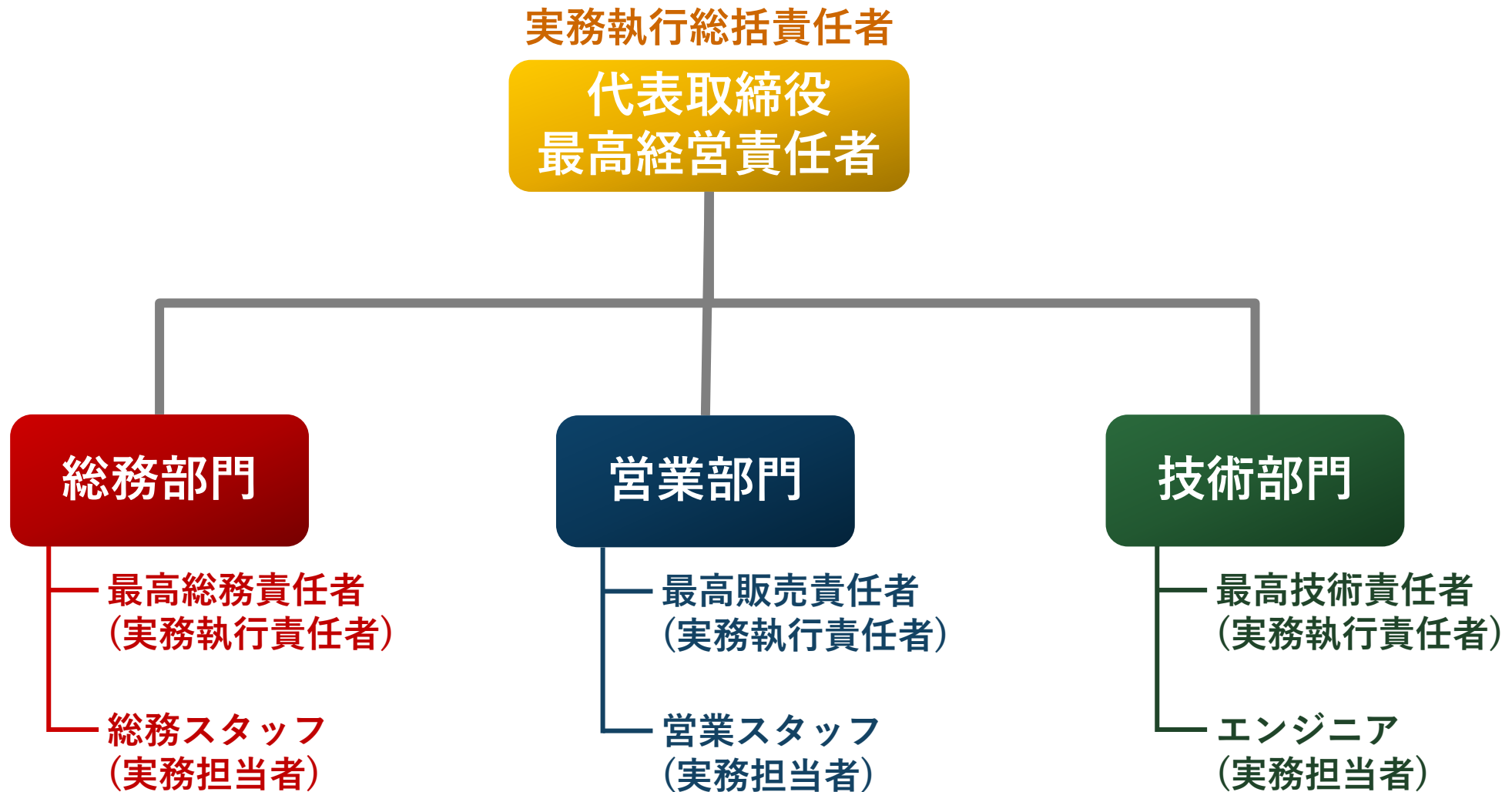


PDCAサイクルによる
研修の継続的な見直し・改善

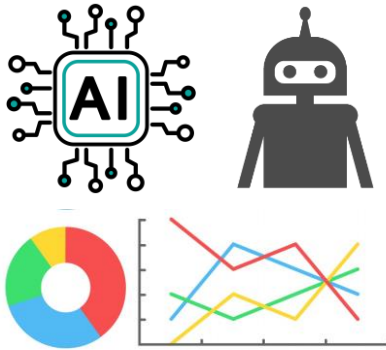


個々のスキルや経験を踏まえたキャリアデザインマップや人事評価制度の構築・運用

9. DX推進体制



10. 最新の情報処理技術を活用するための環境整備



AI・RPA・BIツールといった最新の
情報処理技術へのデジタル投資



最新の情報処理技術動向の入手とその活用促進を目的と
した各種展示会や学会への積極的な参加



リモートワーク環境下においても
デジタル投資により導入したAI・
RPA・BIツールを効率的に活用で
きる環境の整備



eラーニングプラットフォームを活
用した最新の情報処理技術の習得と
継続的なリスキリング環境の整備



他のITベンダーと定期的な意見交換
の場を設け、最新の情報処理技術の
共有を図る。

11. KPI – D X 推進指標 –

		2024年度	2025年度	2026年度
D X ソリューション を活用した 業務改革・収益向上	総務部門	・業務フローの見直しによるコスト削減率10%	・Pマーク取得による社会的信頼度の向上	・ISMS取得による社会的信頼度の向上
	営業部門	・営業事務フローの刷新により労働時間10%削減	・DXソリューションをパッケージ化し他社展開 ・新規顧客獲得に向けた戦略的活動の拡大	
	技術部門	・プロジェクト、タスク管理の効率化により労働時間10%削減	・PoC環境の利活用による第四次産業革命関連の新技术の取得、実用化	
D X の普及・促進 による 地域経済の活性化	総務部門	・DX認定制度の取得 ・特設サイト開設による広報	・SNSを活用したDX関連の情報発信（年12件以上） ・公的機関との連携によるDXの普及・促進活動	
	営業部門	・新サービスの提供開始 ・DX関連新規顧客5社獲得	・新サービスに付随するサービスの企画、販路拡大 ・DX関連新規顧客10社以上獲得	
	技術部門	・5社以上の企業へDX支援	・自社のナレッジを10社以上の企業へ提供することによりDXの普及・促進を支援する	
D X 推進 高度 I T 人材 の育成	総務部門	・研修プログラムの構築 ・人材育成関連規程の整備	・キャリアデザインマップ等を活用した人事評価制度の運用 ・専門実践教育訓練受講者1名以上輩出	
	営業部門	・第四次産業革命スキル習得 ・営業スタッフ1名増員	・第四次産業革命スキルに精通し、ITSSレベル3以上の資格を保有する営業スタッフ1名育成、実働	
	技術部門	・第四次産業革命スキル習得 ・エンジニア2名増員	・第四次産業革命スキルに精通し、ITSSレベル3以上の資格を保有するエンジニア2名育成、実働	

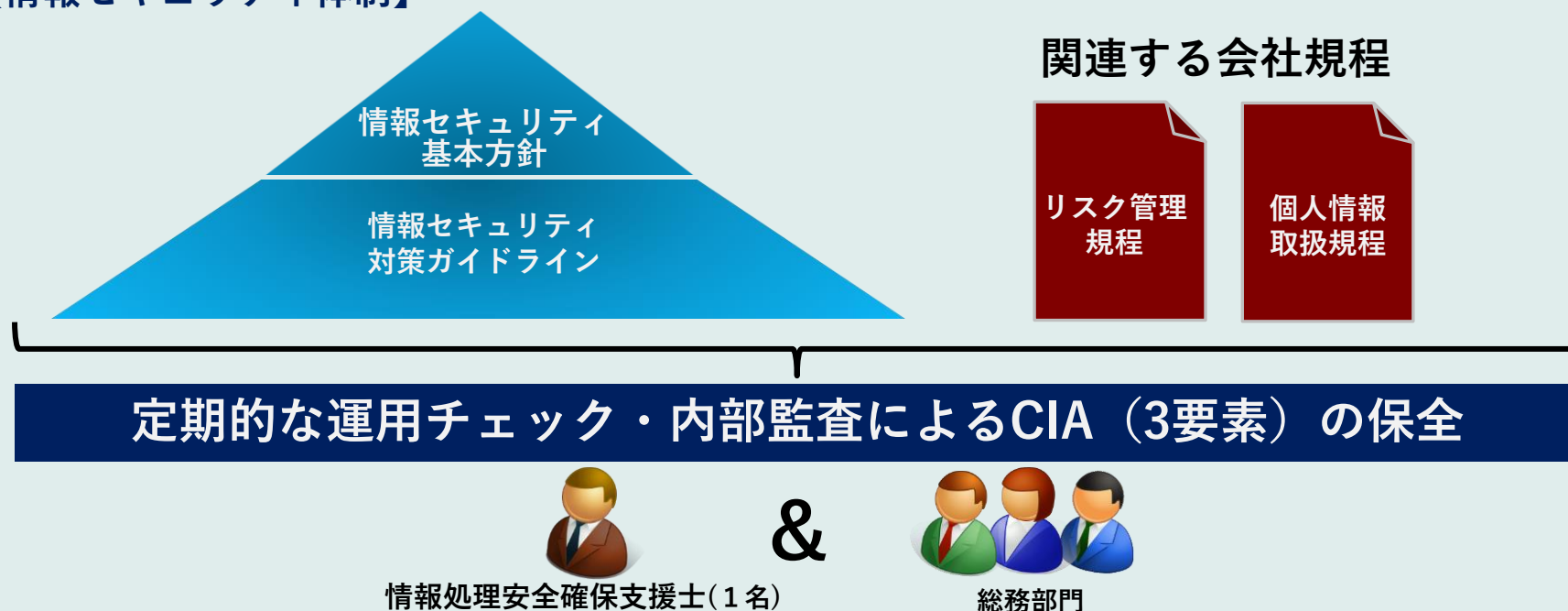
12. 情報セキュリティ対策

私たちは、お客様からお預かりした情報資産を事故・災害・犯罪などの脅威から守り、お客様ならびに社会の信頼に応えるべく、情報セキュリティ体制を構築することにより、全社で取組みを徹底します。

また、情報処理推進機構（IPA）が実施する「SECURITY ACTION」に参画し、当制度において、2つ星を宣言します。



【情報セキュリティ体制】





株式会社 ファニット

FUNIT.